



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

# MMS NEWS

2023 3 月号  
Vol.145  
毎月1回発行(通巻145号)  
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 http://www.JMMPA.jp/

## 「学生全員」制度活用のススメ

ヘルスケア業界の就職活動といえば製薬企業や医療機器メーカーがまず頭に浮かぶだろう。しかし、近年では医療機関の総合職で活躍する方も増えている。学生皆さんにはこの業界で働くことを目指す第一歩として、ぜひ医療経営士の資格取得を目指していただきたい。

# ヘルスケア業界で働くためのパスポート 医療経営士を学生のうちに取得しよう!

### 業界で高い評価を受ける 医療経営士とは

医療機関をマネジメントする上で必要な知識、能力を有し、実践的な経営能力を備えた人材として2010年に誕生した資格が医療経営士だ。現在全国で約1万2000名の医療経営士が活躍している。

勤務先別内訳は図1のとおりで、最も多いのが「医薬品製造販売」。次いで「医薬品卸」、「医療機関」の順となっている。「金融機関」「医療関連企業」も合わせ、一般に「ヘルスケア業界」と言われる分野のあらゆる場面で医療経営士が広く活躍していることがわかる。

### 将来を見据えて在学中に 資格取得を目指す方も

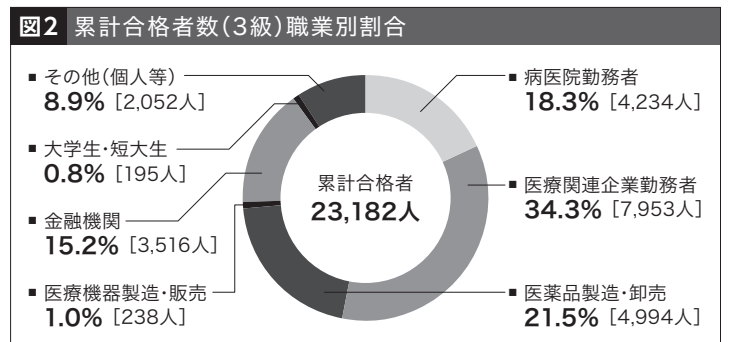
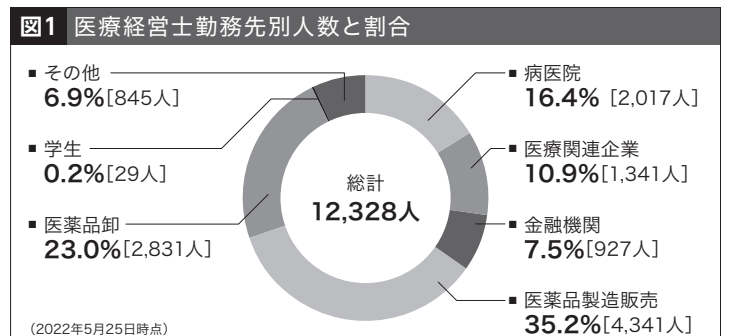
これまでに38回実施され

重要な要素となっていることがうかがえる。  
入会金・年会費が無料の学生会員制度を活用しよう

3級試験に合格し、日本医療経営実践協会に入会すると医療経営士となるが、学生は入会金・年会費とも不要で入会が可能。学生会員として一般会員と同等のサービスが受けられる。各地域の支部にて開催さ

た医療経営士3級資格認定試験において、学生の受験者数は累計で574名、合格者は195名となっている(図2)。累計の合格率は34%と実務経験のない学生にとっては難関試験とも考えられるが、それだけに学生のうちに合格し、資格を取得できれば大きなアドバンテージになるとも言える。

在学中に合格を果たした方へのアンケートで受験した動機を聞くと、「将来的に医療機関向けのコンサルティング等のサポートを行いたいと考えており、医療特有の知識を身につけたかった」「医師免許を取った後のキャリアを考え、学生のうちに受験しておくのが良いと思ったから」などの回答があった。試験を受けることの意識の高さが、在学中に合格を果たすための



れている研究会等にも参加できる。実際にヘルスケア分野で活躍している現場の医療経営士と交流を深め、最新の業界情報にふれることも可能だ。ぜひ医療経営士の資格にチャレンジし、学生会員として業界の最前線にふれる機会を持っていただきたい。また、現会員の皆さまにはお知り合いの学生の方ぜひ本制度をご紹介いただきたい。

# 医療経営士 3級 2級 資格認定試験

医療経営士 資格認定試験 日程	
試験日	<b>6月11日</b>
2023年	
受験エントリー期間	<b>4月3日(月)~4月24日(月)</b>
受験料支払締切日	<b>4月25日(火)</b>

※受験エントリーにはマイページへの登録が必要になります。詳しくは協会ホームページをご確認ください。

	第39回「医療経営士3級」	第25回「医療経営士2級」
受験料 <small>※手数料別途</small>	9,100円(税込)	16,000円(税込) 両分野受験者 14,000円(税込) 分野受験者(分野合格者)
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません	3級資格認定試験合格者かつ、本協会正会員
試験会場	札幌・盛岡・仙台・さいたま・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・鹿児島・那覇	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・那覇

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめてお申し込みできます。  
◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります。

受験エントリー  
**4月3日月 開始!!**  
同僚やお知り合いの方に  
ご紹介ください

ゴールデンウィーク明けの5月8日より新型コロナウイルス感染症の5類への移行が決まり、いよいよ「ポストコロナ」の社会が始まることになる。コロナ禍でオンライン・リモートのみで行われていたセミナーの形式も変わりつつあり、対面で直接会って話すことのできる機会が増えてきそう。医療経営士の皆さまには、対面ならではの深い学びを通して自身のスキルアップに励むことはもちろん、参加者同士の交流による新たなネットワークづくりも積極的に行っていただきたい。今号では3月に開催された4支部の研究会の模様をお伝えする。4月以降も全国各地で開催される研究会、皆さまのご参加をお待ちしている。



## 北海道支部

### 物価高騰のなか医療機関における戦略的なコスト削減を考える

日本医療経営実践協会北海道支部の道北医療ネットワークは3月14日、「病院経営の戦略的なコスト削減について考えよう」をテーマに第8回となる研究会をオンラインで開催。昨今の物価高騰や光熱費の上昇を踏まえたタイムリーなテーマ設定もあってか、過去最多となる100名超の申し込みがあった。

冒頭、道北医療経営ネットワークの事務局を務める医療法人仁友会本部財務課の森康一氏が、コスト削減に関する参加者への事前アンケートの結果を紹介。経営の根幹にかかわるようなコア業務の外製化においてはコスト以外の要因が重要と感じている医療機関が多い等の傾向を報告した。

1つ目の講演は医療法人仁友会法人本部長の平間康宣氏による「北彩都病院におけるコスト削減の具体例」。平間氏は電気・ガスといったエネルギー管理を一括で行うESCO事業の導入により10%以上のコスト削減効果が見込めることや、蛇口に取り付ける節水装置により使用に違和感なく節水効果があったことを報告した。さらに下水道料

金の計算方法について、自治体の認可を受け実際に下水道に流れた水量を計測できると、一般的に上水道の使用料のみなし水量で計測するより大きな節約になることを紹介。また透析液の量をコンピュータ制御することで廃棄量を50%以上削減できたとその効果を示した。

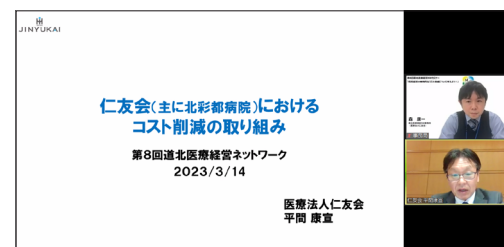
最後に、コスト削減の課題として医療機関では他の病院がやっていないとやらない前例踏襲主義が強いことや、医療材料等については現場の声に左右されやすいことを挙げ、マネジメント部門のDX化の遅れと人材不足こそが根本的な要因になっているのではないかと疑問を投げかけた。

次に市立芦別病院事務部長の黒田達也氏が「中空知6公立病院のつながり方について」と題して講演。札幌と旭川の間に位置する中空知二次医療圏において病床再編や資格者の確保、さらに働き方改革への対応といった問題が山積するなか、それぞれの自治体病院をつなぐ仕組みとして、患者の診療情報を共有するためのネットワークシステム「そら-ネット」と、医療材料等の情報連携とし

て購買データを共有できる「SORA-ユニット」を紹介。同一材料の購買価比較が可能になり、標準品への切り替えとベンチマークによる価格交渉によって大きな削減効果があったことを報告。購買担当者会議開催による直接的交流を通して信頼感が醸成できていたからこそ実現できたと述べ、人口減退期における地域共通の課題を地域みんなで解決していくことが大切だと語った。

最後にエム・シー・ヘルスケア株式会社地域連携支援UTマネージャーの鴨下義一氏が登壇、「医療機関におけるコスト削減に寄与するサービス紹介と事例」として、病院経営の後方支援を行う同社のサービスを紹介した。

同ネットワークの研究会は年2回開催されており、今回は夏頃を予定している。



平間氏(右下)は豊富な実践事例を通して具体的なソリューションを提案

## 関東支部

### 「病院事務職は本当に必要なのか」をテーマにさまざまな観点からの考察を展開

日本医療経営実践協会関東支部の神奈川研究会は、3月17日、43回目となる研究会をハイブリッド形式で開催。「病院事務職って本当に必要ですか?」をテーマに、医療法人社団永生会永生総合研究所所長の神戸翼氏が講演を行った。

神戸氏は冒頭、今回のテーマ設定について「帰無仮説により『病院事務職は不要だ』という仮説を否定することで病院事務職が必要であるという結論を導きたい」と説明。業務的な側面、資本主義的な側面、価値観という3つの観点から病院事務が不要なのかについて考察した。

業務的な側面からの考察では、10~20年後に国内の601職種のうち49%がAIやロボット等で代替可能になるという資料をふまえ、ピックアップした職種ごとに30の指標で分析。一般事務職と医療事務職の比較では、「医療事務は慣習的な項目が高く前例踏襲的」「他者とのかわりには医療事務のほうが強い」といった傾向を解説し両職種の差異を強調。そのうえで、「施設課や用度、購買といった分野ではAI・機械化が進みそうだが、広報や経営

企画等のヒューマンスキルが求められる部分は残るのではないかとした。

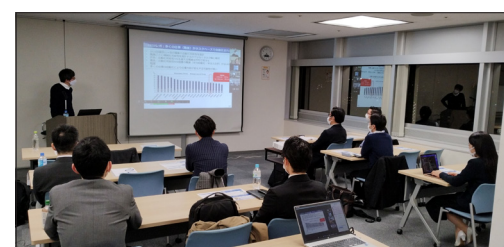
続いては資本主義的側面からの考察として、ここ20年の医療事務職の人数の動向を示し、高齢者人口の増加と近い形で推移している点に注目。今後20年を考えると高齢者人口が増加するなか生産年齢人口は減少となり、都市部では病院事務職のニーズは増えるものの働き手不足が課題に、地方では他業種との競争になるのではと示唆した。さらに給与面ではここ20年減少しており国公立と民間の差が小さくなっていることを指摘。これからの人材不足のなかで病院事務職が売り手市場になる可能性があるとし、「給与が上がればそれだけの価値創造が求められるため、事務職個人にはその準備が必要になる」との見方を示した。

最後に価値観からの考察では、チャットGPTに「病院に事務職は必要か」「病院の事務職の価値観は」といった質問を投げかけ、その回答を紹介しながら解説。コミュニケーションスキルや医療に関する知識・理解といった部分を有していればAIも

求める存在になれると強調した。

最後にまとめとして、神戸氏は「良い仕事」に言及。「その仕事の100%が好きでなくても、毎日少なくともいくつかのお気に入りの活動があればそれは良い仕事なのではないか」と述べ、「毎日消耗感がなく、働くことで愛する人々から切り離されていると感じることがない、そんな働き方ができる仕事が良い仕事ではないか」とし、病院事務職もそのような働き方ができるような仕事であり、決して不要な職種ではないと結論づけた。

神奈川研究会は隔月の第3金曜日に開催しており、今回は5月19日、メディリリーフ代表取締役の荒井ゆき氏を講師に迎え、「心理的安全性」をテーマに開催する予定だ。



ハイブリッド形式での開催で、会場参加者もだんだんと増えてきている

# 全国の地域支部が研究会を続々開催

## 最前線の学びと顔の見える関係づくりに向け 医療経営士として積極的に参加しよう!

### 九州支部

### 現役大学生も登壇 さまざまな視点から 病院経営の最前線を学ぶ

日本医療経営実践協会九州支部沖縄県自主勉強会は、第8回勉強会を3月17日にハイブリッド形式で開催。今回の勉強会は3名が登壇した。

最初に登壇した那覇市立病院人事課長・教育研修グループ長の黒崎浩史氏は「FOCUS人事業務～働き方改革だけじゃない人事のおしごと～」と題して講演した。黒崎氏は人事には多岐にわたる業務があるなかで、近年ではSNSを活用した採用や高齢労働者への対応といった新たな動きへの対策が求められると指摘。DXへの取り組みとして看護職のシフト勤務をAIで作成することで勤務負担の軽減につなげた事例を紹介した。また自身の取り組みについては、あらゆる業界において人事の仕事は存在するため、一般企業の情報を積極的に収集し活用するようにしていると話した。

続いては社会医療法人敬愛会中頭病院臨床教育開発センター主任の岡大樹氏が「臨床研修部について～初期研修医へのサポートとこれからのに向けて～」を発表。沖縄県内には民間病院で構成される群星沖縄群、琉球大学病院を中心としたRyuMIC群、県立病院で構成する県立病院群という3つの病院群があり、「医学生に向けたレジナビ合同説明会等をオール沖縄として3病院群が合同で行っている」という現状を報告した。さらに「初期研修医の確保が医師の確保につながる」とし、ホームページやSNS以上に重要なのは口コミであると断言。今実際に研修医として来ているドクターを大切にすることを心掛けていると述べた。

3人目として常翔学園広島国際大学3年生の奥間さくら氏が登壇、「医療経営の学び～それは人と向き合うこと～」と題した特別発表を行った。現在大学で医療経営を学んでいる真っ最中の奥間氏は、医療経営について「いのちと向き合う経営学」だと定義。現在のゼミに入り、病院見学や病院実習を通して自分の将来像がイメージできたと語った奥間氏は、最後に自身の目標について「病院の総合職に就くこと」とし、「組織で信頼される人材になり、社会に貢献できる仕事をしたい。医療経営を学び、医療マネジメントを通じて日本の社会に貢献していきたい」と力強く語った。

3名の講演後に行われた質疑応答では奥間氏のゼミの教官である丁井雅美准教授も参加、活発な意見交換が行われた。

現役大学生の奥間氏による発表のレベルの高さには驚きの声も聴かれた



### 関西支部

### 全5回のオンライン塾で 病院経営をイチから学び 実践力を身につける

日本医療経営実践協会関西支部では、昨年の11月より、有限責任監査法人トーマツのヘルスケア領域コンサルティング部門で活躍する古株靖久氏を講師とした「“イチ”からわかる病院経営オンライン塾」を全5回で開催。最終回となる第5回が3月18日に行われた。

同講座は病院の経営分析から経営戦略に関する方法論を体系的に学ぶことを目的として企画された。1回目から病院経営を取り巻く環境、病院の外部/内部環境分析、病院経営戦略の策定と実行について学び、5回目は「病院経営の改善手法を学ぶ」として具体的な改善手法の講義が行われた。

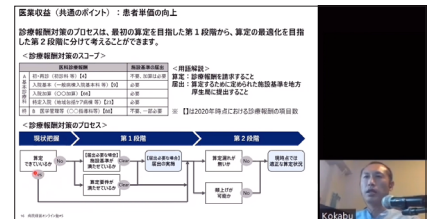
古株氏は経営改善には「医業収益を増やす」「医業費用を抑える」しかないとし、収益を増やす方法としては、ベンチマーク分析とトレンド分析によって取り組みの優先順位を決定することが大切と強調。「患者の来院パターンを把握したうえで、経営戦略に基づいてどこの患者セグメントを意図的に増やすべきかを考えることが大事」とターゲットを明確にすることの重要性を説いた。さらに取り組む順番については、「来院する患者を増やしても受け入れる対応ができていないと断ることになってしまうのでそれが一番よくない」と、まず院内調整を行うことの必要性を訴えた。

費用抑制については、給与費、材料費、委託費に分けて解説。給与費については簡単に抑制できるものではないとしたうえで、例えば看護師数が適正かどうかについては病床機能報告を活用したベンチマークで同規模同機能の医療機関との比較が有効とし、「多かった場合でもすぐに解決しようとせず、5年後にはベンチマーク平均水準になるよう定年退職者を補充しない等の戦略を取ることが大事」と長期的な視点の重要性を説いた。

最後に古株氏は「医療業界を支える同志として地域医療を守るためにこれからも頑張りましょう」と参加者にエールを送った。参加者からは「事業戦略のフレームワークを医療機関に当てはめていただいととても分かりやすかった」「具体的な事例を中心にした実践編も検討してほしい」といった声が聞かれた。

4月からは古株氏を講師とした「“イチ”からわかる介護経営オンライン塾」を全5回で開催する。

具体的で実践的な古株氏の解説は参加者からも好評



## 日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
4月14日(金)	東北	第15回 みやぎ仙台ネットワーク 「経費高騰に打ち勝つ病院経営を考える」	佐竹直也氏(医療法人松田会事務部部长)
4月26日(水)	関東	第3回 もっと幸せな医療研究会 「行動経済学・ナッジ理論から」	豊島久雄氏(日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所)
4月21日(金)	関西	“イチ”からわかる 介護経営オンライン塾 第1回(全5回) 「介護経営を取り巻く環境を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ) 熊田圭佑氏(有限責任監査法人トーマツ)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

## 事務局掲示板

### 懸賞論文「日本医療経営実践賞」案件募集中! 賞金100万円、応募締切は5月15日(月)

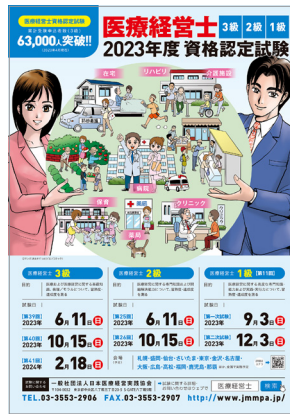
当協会では第6回(2023年度)「医療経営に関する研究助成」として、懸賞論文「日本医療経営実践賞」の案件を募集しています。募集内容は医療経営に関する論文でテーマは自由。対象者は医療経営士および医療経営に携わる個人・グループ

です。応募論文は選考委員会において公正かつ慎重に審査し、最優秀賞には賞金100万円が授与されます。

応募締切は5月15日(月)、当日消印有効。医療経営士の皆様からたくさんのご応募をお待ちしています。

### 2023年度試験ポスターが完成 掲示していただける会員の方を募集中!

2023年度「医療経営士」資格認定試験ポスターを掲示していただける会員の方を募集しています。ご希望の方は、「医療経営士試験ポスター希望」と件名をつけ、お名前、所属先、肩書き、送付先住所、電話番号、必要部数をご明記の上、下記お申し込みメールアドレスへご連絡ください。A4判フライヤーもご用意しています。皆様のご応募をお待ちしています。



#### 【お申し込み】

E-mail : info@jmmpa.jp

## BOOKS

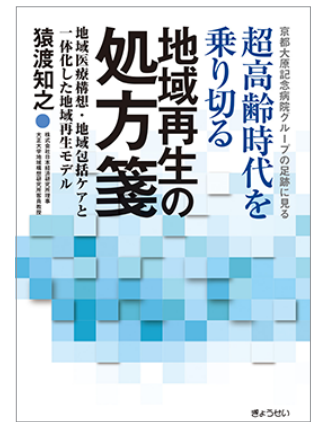
### 京都大原記念病院グループの取り組みから これからの病院の役割を考える

1981年にリハビリテーションに特化した急性期の後方病院として開設された大原記念病院(現・京都大原記念病院)。現在、京都大原記念病院グループの代表を務める児玉博行氏は同院の開設以来、患者、そして地域のためにどのような機能があればよいのかを考え、実行に移してきた。

介護施設の設立、訪問サービスの開始、シームレスな連携、生活支援への取り組みなど、本書で紹介される同グループの取り組みは現在の地域医療構想を先取りしていたことの証左であり、先見の明に驚かされる。

地産地消への取り組みや地域に根付く寺院との連携といった同グループが手掛ける地域再生への試みは、地域と共生する病院の新たな役割を考える際の道標となるだろう。

- 著者：猿渡知之  
(株式会社日本経済研究所理事/  
大正大学地域構想研究所客員教授)
- 定価：2,530円  
(本体2,300円+税)
- 体裁：A5判/224ページ
- 発行：ぎょうせい



## INFORMATION



### 日本ヘルスケア経営学院「医療経営士 実践研究講座」シリーズ 医療経営士としてのスキルとノウハウを伸ばす!

ヘルスケア分野の経営人材を養成・育成する日本ヘルスケア経営学院では、日本医療経営実践協会公認の医療経営士向けWEB講座を開催している。

ラインナップは、今話題のインボイス制度が学べる「知っておきたいこれからの医療税務」、院内でのDXの進め方がわかる「コロナ禍におけるDX」、漏えい時に知らなかったでは済まされない「個人情報

報保護法の最新動向と医療機関における実務対応」、これからの病院薬剤師について考える「病院薬剤部門のマネジメント」、予算と収益の分析と対応がわかる「収益予算のモニタリングとバリエーション対応の基本」と、明日からの実務に活かせるものばかりである。隙間時間等を活用して学び、知識・実践力を磨いて、自身の成長にぜひ役立てていただきたい。

#### 【実践研究講座シリーズ】

- 実践研究! 「知っておきたいこれからの医療税務」  
～2020年の税制改正からその先の展望まで～
- 実践研究! 「コロナ禍におけるDX」
- 実践研究! 「個人情報保護法の最新動向と医療機関における実務対応」
- 実践研究! 「病院薬剤部門のマネジメント」
- 実践研究! 「収益予算のモニタリングとバリエーション対応の基本」

#### ◎全講座共通

受講料(税込)：[医療経営士]3,300円 [一般]4,400円

講義時間：全45～65分(全3～5動画)

URL：https://hcmi-s.net/weblesson-jissen/



# 月刊医療経営士

特集

## 待ったなし、

2024年に向けた

## 病院改革

4月号  
好評発売中!!

■医療経営士応援企画は22年度改定の振り返り

■東京ツナクリニック院長大宮謙一氏のスペシャルインタビュー

次代を担う  
医療経営人財を  
サポートする  
「医療経営士応援マガジン」

詳細・ご購入は  
コチラ

